

214エレベータ、リフトを起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	16~17	カーリフト用モーターの交換時に、左足を滑らせ転倒し、その際に左肘および左脇腹を強く打撲した。	59	2	11702	10 ~ 29
2	2017	12	1~2	元請からの受注物件において、エレベーターシャフト内（エレベーターが昇降する空間）の除塵作業中、掃除機の先端部のブラシが落下しエレベーターの下部に引っかかっていたことが確認できたので回収しようとオペレーターと打ち合わせのうえ、上昇させた際に落下防止用手すりとシャフト内の梁との間に顔を挟んで負傷した。	26	7	150101	10 ~ 29
3	2017	11	16~ 17	荷物を運ぶエレベーターで製品を運んでいてエレベーターを開ける際に、エレベーターのドアと上の壁の部分で指を挟みひびが入った。	21	7	10109	10 ~ 29
4	2017	11	19~ 20	店舗内にてリフトを使い食材の積み下ろし作業中に、物が引っ掛かり開閉している扉が勢いよく閉まった為、指を挟む。	41	7	140201	10 ~ 29
5	2017	11	15~ 16	当社工場内にて手動ハンドリフト（クレーン）を移動させる際に、屋外との段差をリフトが転倒し、リフトと地面の間に挟まれ股関節を負傷した。	65	5	11301	1~ 9
				集荷先である荷主様方の2階から、重量のある宅急便を数個1階へ運ぶ為、鉄製の台車に積み付け、その台車を荷役専用の昇降				50

6	2017	11	17～ 18	機に載せる際、過積載の為重量オーバーとなり昇降機の内カゴが落下した。台車のハンドルから手を放すのが遅れ、昇降機投入口と台車ハンドルに指が挟まり、右手人差し指の先端7mmを切断してしまう事故である。	38	7	40301	～ 99
7	2017	11	4～5	エレベーターに荷物の入ったロールボックスを搬入、後閉ボタンを押したところ、扉が下りてくる際にロールボックスの上部に引っ掛かってしまった。それを外そうとロールボックスを引いた際に扉が上から頭、背中に落下し損傷した。	47	4	170101	100 ～ 299
8	2017	10	11～ 12	当社店舗の倉庫において、冷凍食品を2階から1階へ移送するため、リフトに積み込んだ後、階段で1階へ下りたが、まだリフトが1階に到着していなかった。リフトが腰の高さまで下がった所で、完全に止まらないうちに商品を降ろそうとして前に出過ぎたため、降りてきたリフトに右足のつま先を挟まれて親指と中指を負傷した。	58	7	80209	10 ～ 29
9	2017	10	8～9	第二工場焼成室で、鉄板移載リフターのエアシリンダー2台のうち奥側の1台が動作不良のため、左手を伸ばして調整を行っていたら、突然シリンダーが下降したことで左手親指の付根付近を挟まれた。	27	4	170101	30 ～ 49
10	2017	9	14～ 15	当社整備工場の車輛昇降リフトの台座が、最下位置より約10cm位上昇した位置で停止していた。被災者は、自分の持ち場の作業場に戻るときに、近道を通ろうとして、工場内の通路を逸れて、そのリフト台座の上を通行しようとした。その際に、そのリフト台座が上昇していたことに気付かずに、台座につまずいて身体のバランスを崩して転倒した。転倒した際に、移動式ライトテスターという機械に右耳を打ちつけ被災した。	65	2	11502	1～ 9
11	2017	9	13～ 14	顧客先において、エレベーターの法定検査における、主ロープの調査・検査をしているとき、エレベーターの主ロープの検査を実施していた。誤って、シープとロープの間に指を挟み、負	47	7	170209	1～ 9

				傷したものである。				
12	2017	8	10～ 11	エレベーター定期点検時のピット作業終了後、ピットから出るため、同僚と合図しあい、エレベーターを自動運転で1Fから2Fへ動かしたとき、誤ってかごの下のワイヤーロープとシーブの間に右手指を挟まれて、中指・環指・小指を負傷した。	29	7	11702	10 ～ 29
13	2017	8	9～ 10	工場内リフトにて、金型を出す時に台車が引っ掛かり、戸開が開けにくかったので、下戸開を足で踏んで強引に開けたため、リフト上戸開きが勢いよく開き、上戸開に添えていた右手を壁にぶつけ負傷した。	45	3	11209	30 ～ 49
14	2017	8	14～ 15	第9棟2Fより、作業用ラックを1Fに1人で下ろそうとしたとき、通常は昇降台をボタン操作で2Fに上げ、昇降台が2Fにあることをランプ点灯で確認してからシャッターを開け荷物を搬入するところ、昇降台が2Fにあると思い込み、ランプ点灯を確認せず、シャッターを開けて作業用ラックを引っ張る形で後ろ向きで搬入しようとした。しかし、昇降台は2Fではなく1Fにあったため、そのまま転落した。シャッターを開け、昇降台を目視確認することなく、後ろ向きに荷物を搬入したことが原因である。	56	1	10806	30 ～ 49
15	2017	8	18～ 19	終業後、帰宅するため事業所内8階のエレベーターに乗ろうとしたとき、先に乗っていた他の職員が「開」ボタンを押していたにもかかわらず、ドアが急に閉まり、右肩を強打した。	63	7	80409	100 ～ 299
16	2017	8	11～ 12	牛の枝肉洗浄作業のため昇降台に乗り作業を行っていたとき、台を下げようと操作ペダルを踏み込んだが台が下がらず、チェーンブロックの鎖だけが動いた。少し遅れて鎖が緩んだ分だけ一気に下がり、台と共に落ち、右足踵を骨折した。	74	1	150105	10 ～ 29
17	2017	8	11～ 12	車検整備中リフトアップした車両に乗り込み車両から降りる際にリフトのアームに足が引っ掛かり転倒、左手で床につき左手親指を骨折した。リフトを十分下段まで、下げずに少し上った	20	2	80202	10 ～

				状態で乗り降りした為転倒した。				29
18	2017	7	11~12	新築工事現場において、型枠解体材をロングエレベーターにて搬出中、ロングエレベーターから荷降しをする際積み込んだ型枠材の上にあがってEVゲートを降ろそうとしたところ、ゲートのすき間に型枠材が挟まりその衝撃で型枠材が割れてその反動でバランスを崩し、型枠材の上から転落したもの。（高さ約1m70cm）	35	1	30201	1~9
19	2017	7	18~19	病院事業所の2階廊下を通過してエレベーターを半分くらい入った所でエレベーターに配膳車を乗せている時に延長ボタンを押さなかったのではばらくしたらエレベーターのドアが閉まってきた配膳車とエレベーターのドアの間に右腕が挟まり負傷した。	63	7	80209	10~29
20	2017	7	14~15	エレベーター点検作業を行うため、手動でエレベーターを上昇させていた際エレベーターから枠外に右足かかとうが出ていることに気付かず近づいてきた2階ステージとエレベーター床面との間に右足かかとうが挟まれ負傷した。	22	7	11702	50~99
21	2017	7	17~18	店内ペット売場ペットフードを品出し、補充している時に、すぐそばに脚立があり、ペットフードの缶詰1箱（重量8.1kg）を持ちあげて振り向いた時に、目の前にあった脚立にぶつかり手に持っていたペットフードの缶詰1箱（重量8.1kg）を右足首に落としてしまい負傷した。	50	7	170202	300~499
22	2017	6	10~11	垂直搬送機を用いてパレットを上げる作業を行っている時、パレットで垂直搬送機の床面を突いてしまい、レールから外れた。外れた床面を手でレールに噛ませようとした時、その床面を支えきれずに落下させ、指が挟まれてしまった。	36	7	40301	100~299
23	2017	6	12~13	配膳車をエレベーターにて昇降する際、扉に右手中指を挟んでしまった。	46	7	80209	1~9

24	2017	6	14～ 15	ガントリークレーンのエレベーターの定期点検を実施しようとしてケージ上に昇り、ラックギヤのオイル塗布作業を開始した。手動操作にて上昇作業中、不用意に右足をエレベーター上部の手すりの外に出していたため、エレベーター2階乗り込み口の踊り場鉄柱に、右足首を挟み負傷した。	25	7	50202	10 ～ 29
25	2017	6	17～ 18	厨房のエレベータ前で配膳台の2台目をエレベータに入れようとしたところ、扉が閉まりかけた。急いで開けようとしたが、扉に押され、左側に体ごと倒れた。その際に左足の側面をコンクリートの床に強打し、左足小指下の骨折と左足左側面の打撲をした。	57	2	10109	10 ～ 29
26	2017	5	13～ 14	休憩終了時にエレベーターで地下2階から1階へ移動し降りる時に、段差があるのに気が付かず後足（右）のつま先が段差（フロアとエレベーター内の）に引っ掛かり、飛んで行って右手からフロアに転倒し、右手首を骨折した。	64	2	140101	100 ～ 299
27	2017	5	16～ 17	バックヤード搬入口で水産業務の片付けをしている時、カギ手を使用しバケツを運ぶ作業中にカギ手が外れ、はずみでバランスを崩し昇降用リフトの上段から下段へ自ら飛び降りた。その際に踵を強打し、安静にしていたが腫れがひどく歩行困難になった。	67	3	80209	30 ～ 49
28	2017	5	15～ 16	派遣先事業所ビル内の地下1階エレベーターでエレベーターを降りる際に、乗り降りする人が多く、被災者が降りるタイミングが悪く、ドアが閉まってしまったため、ドアに挟まれ、打ち身・内出血をしてしまった。	50	7	170209	100 ～ 299
29	2017	5	16～ 17	スーパーマーケットにて、水産業務に付随する片付け中、バックヤード搬入口にある、高さ約1.5メートルの昇降機で、カギ手を使って荷物を運搬中に、荷物に取り付けたカギ手が外れバランスを崩した。昇降機の上段から下段へ頭部及び背部より落下しそうになったため、自ら飛び降りた。着地の際に踵から落	67	1	170101	50 ～ 99

				ち、しばらくその場で安静にしていたが、重心のかかった左足かかところが腫れ出して立ち上がれなくなった。				
30	2017	5	8～9	出勤の際、4階から店内エレベーターに乗ろうと右足を踏み出したところ、エレベーターの床が30cmほど下がっていた為、全体重が右足にかかり右膝の靭帯を痛めた。	51	2	80201	100 ～ 299
31	2017	5	9～10	厨房内のエレベーターにて、下膳車をエレベーター内に運び入れる最中に、エレベーターの扉が閉まってきて、左肘に接触した。その際、左手で台車を持っていたままだったため、左手首に強い力が加わり、骨にひびが入った。	57	7	80409	10 ～ 29
32	2017	5	13～14	当社の施設にてイベントの用意でエレベーターで椅子を運んでいた際、椅子2脚を運んでいたがエレベーターが狭かったため、降りる際に椅子とエレベーターの間に右手首を挟んだ。	18	7	130201	50 ～ 99
33	2017	4	17～18	施設内ダムウェーターにて、ゴミを降ろす際手動の扉で手を挟み、右手中指を骨折した。	31	7	170101	100 ～ 299
34	2017	4	17～18	施設内ダムウェーターにてゴミを降ろす際、手動の扉で手を挟み右手中指を骨折した。	31	7	130201	50 ～ 99
35	2017	4	23～24	スタッカー内にパン箱が詰まり、停止ボタンを押したつもりが別スタッカーの停止ボタンを押した。その後スタッカー横のリフト上で詰まったパン箱を取り除く作業を行っていたところ、リフトが下降し、バランスを崩して左側柵に左わき腹を強打した。	62	3	10104	500 ～ 999
36	2017	4	10～11	工場内で昇降リフトに乗って2Fから1Fに降りる時に、リフトが突然落下し、左足かかを骨折した。	69	3	11301	1～ 9
37	2017	4	8～9	自転車で出社し、地下駐輪場へのスロープを下る際、路面が直前の雨で濡れていたためタイヤがスリップし転倒した。	45	3	170209	300 ～

									499
38	2017	4	15~ 16	<p>店内1F後方エレベーターで、商品の納品作業中、雨が降り出したので急いで荷物を屋内に引き込み、仕分けと2階へ移動を行っている最中、エレベーター1F到着後開延長ボタンを押し忘れて台車を引き込んでいたところ、途中でエレベーターの扉が閉まり両腕を挟まれ、安全装置が動いてすぐに扉が開いたが、挟まれた際に驚いて無理に腕を引き抜こうとし、左肘下を受傷した。</p>	29	7	80201	100 ~ 299	
39	2017	4	16~ 17	<p>昇降機設置工事中、主ロープの掛け間違いに気付き、復旧方法を検討し再度主ロープの掛け間違いを確認する為、カウンタープーリー部まで左手にて主ロープをガイドしながらエレベーターを降ろした際、左手人差し指が主ロープとカウンタープーリー間に挟まれた。</p>	23	7	30201	100 ~ 299	
40	2017	4	22~ 23	<p>顧客先にてエレベーターの故障修理（部品交換）作業中に、故障修理のためにVベルトを交換した。試運転時に誤って、当該Vベルトとポンププーリーに指を挟み負傷した。</p>	53	7	170209	10 ~ 29	
41	2017	3	11~12	<p>エレベーターの定期点検中、かご上に乗りガイドレールの清掃を行っていたところ、2階と3階中間付近にて右側ガイドローラーとガイドレールの間に左手人差し指全体を挟みこんで負傷した。不安全状態として、作業時に安全スイッチを遮断していなかったこと、低速上昇運転を自らおこないながら作業していたことが挙げられる。</p>	36	7	11702	100 ~ 299	
42	2017	3	11~12	<p>病院内エレベーターで昼食配膳に行く時、エレベーターが閉まりはじめ配膳車にぶつかってしまいそうになったので手で押さえた時、右手親指第一関節を剥離骨折した。</p>	63	6	80209	30 ~ 49	
				<p>大きな音がして、従業員が見に行くと床に倒れている状況であった。救急車で病院に搬送され治療を受けたが夜に死亡が確認された。発生状況と誰も見ていた者がいない為、推測となる</p>					

43	2017	2	18~19	が、一人での作業中にゴンドラに商品と自身が一緒に乗りゴンドラから転落をしたのか、それとも会社からはゴンドラには乗らないように伝えられている為商品だけをゴンドラに乗せて上げた後に自身も2階に上がりゴンドラから商品を取ろうとしている最中に落下したのかは不明である。	43	1	80209	10 ~ 29
44	2017	2	16~17	労働者派遣先にて倉庫内作業を行っていた際、2階から業務用エレベーターにカゴ台車を載せ1階で降ろす作業をしていたところ、エレベーター扉（上下に開閉、3m×3m、240kg）が4mの高さから落下した。後頭部、背中、臀部に衝突した。前方に弾き出されるように転倒した。後に、扉を保持していたワイヤーが切れたことが原因と分かった。	40	4	170101	100 ~ 299
45	2017	2	14~15	空調工事において、送風機をアップパーにて屋根上に荷揚げ作業中、アップパーのマストが折れ送風機が落下し、腰部に当たり負傷した。	64	4	30203	1~ 9
46	2017	2	9~10	工事用エレベータ（以下EV）試運転のため、EVポストを昇り、天井ハッチを閉めたところEVが動き出し、外側からEV天井手摺に安全帯のフックを掛けていた被災者が上昇するEVに引っ張られた。安全帯が破損し、約4~5mの高さから墜落した。	47	1	11702	30 ~ 49
47	2017	1	18~19	商品搬入先にて、2階で商品搬入用リフトを1階より上げ内側のドアを開けたら床とリフトに段差があったので再度ドアを閉めて操作ボタンを押したがその際リフトが動かず、再度ドアをあけた際に突然リフトが1階まで落ち、そのときに床とリフトの間に左足の指（親指、人差し指）が巻き込まれ骨折をした。	25	7	11703	30 ~ 49
48	2016	12	16~	製材製品の仕分け作業を行っていた。製品仕分け用コロコンマスが一杯になったので、製品をのせていたラックを引き出す際に足を踏ん張ったところ、誤ってラックを昇降させるテーブル	25	7	10409	100 ~



			17	リフターのフットスイッチの上昇側を踏んでしまった。テーブルリフターが上昇し、ラックとテーブルリフターの天板で指を挟んだ。				299
49	2016	12	9～ 10	清掃作業中、ゴミ処理のため2Fより人荷用エレベータに乗りこもうとした時、先に乗っていた者がボタンを押し間違っ 「閉」を押したため、扉が閉まってしまい、右上腕部を扉で強打した。	61	7	150101	～ 499
50	2016	12	13～ 14	2Fで、台車に載った製品を昇降機で1Fにおろす作業をしていた。昇降機の片手扉を手前に引いて、台車を押し込んだところ、昇降機が2Fになく1Fにあった為、製品と共に落下し負傷した。	60	1	11409	～ 29
51	2016	12	11～ 12	大型トラック用シャシーフレームの車台番号の打刻作業をしていた。打刻するための機械はリフターに載っており、リフターを操作してフレームに打刻しようとしたが、打刻すべき場所への打刻機の位置が合わなかったため、リフターに載った打刻機を一旦下げた。その際に、リフターと床の間に両足部を挟まれた。	42	7	11502	～ 999
52	2016	12	12～ 13	商品補充をしている時に、業務用エレベーターに荷物を載せようとしたところ、エレベーターの箱が来ていないのに扉を開けてケースを搬入しようとして、エレベーター口から落下した。	52	8	170209	～ 49
53	2016	10	16～ 17	倉庫で、荷物搬送用リフトに足の先を入れた途端にリフトが落ちてきて負傷した。	41	7	10106	～ 299
54	2016	10	13～ 14	工場2階のリフトを点検中に、リフトが落下し、挟まれた状態となった。リフトを持ち上げた際に、右手中指の第1関節付近を負傷した。	24	8	11703	～ 49
55	2016	10	13～	工場2階のリフトの異常を点検中に、リフトが落下した。そのリフトに挟まれ、背骨を圧迫骨折。また、救助されている際	49	4	11703	～

			14	に、左膝の捻挫と左肘の擦り傷を負った。					49
56	2016	9	7~8	積荷先にて卵の積み込み作業時に於いて、荷物専用エレベーターに乗り、卵を下ろす作業中にエレベーターのワイヤーが切れて落下し、腰と首を打撲した。	45	1	40301		10 ~ 29
57	2016	9	14~ 15	小荷物昇降機設置工事中、被災者がカゴ上で操作し、カゴを上昇させた際、カゴ本体を吊っているメインロープの固定部が締結不足により抜けたため、被災者をカゴ上に乗せた状態で4階付近からピットまで落下し負傷した。	26	1	30201		50 ~ 99
58	2016	9	11~ 12	マンション新築工事現場にて、足場業者が10~12層目外部足場組み立て作業を行うため、クサビ式筋交いを足場上に荷揚していた。被災者がダクト配管を加工し終わった資材をロングスパンエレベーターで荷揚中、足場上に置いてあった筋交いがロングスパンEVの昇降の振動により一本落下し、6層目あたりのロングスパンEV内で荷降ろししていた被災者の左背中に直撃した。	46	4	30201		1~ 9
59	2016	9	11~ 12	作業現場の清掃終了後、エレベーターで客が降りるのを待ってから乗ろうとした際、閉まるドアに衝突して転倒した。その際、左足に体重が乗ってしまい左大腿骨を骨折した。	71	2	150101		100 ~ 299
60	2016	9	11~ 12	出張先にてタワーボトムでリフトから降りる際に姿勢を崩し、そのまま左足で着地してしまい左膝を外側に捻り、十字靭帯を剥離骨折。	22	1	170209		10 ~ 29
61	2016	9	10~ 11	自動車整備工場内にて自動車の車検整備中に、車検車をリフトに乗せリフトレバーで車を上に上げ、自身も上にいた。降りようとリフトレバーに足をかけ、降りた時に右足がガクツとした。	63	3	11701		1~ 9
				製品の運搬の為、荷物専用エレベーターに台車と共に乗り1階から2階に行こうとした。エレベーターに乗り込み昇降ボタン					

62	2016	9	16～ 17	を押して2階へ上がって行く際、本人の不注意によりエレベーター側の扉が開いたままで上昇し、かつ台車の前輪がエレベーター側の扉の溝にはまっており、上昇途中に台車とエレベーター建屋の壁面と接触し台車が隙間に挟まった。あわてて台車を引き抜こうと接触部分の台車の取っ手を握って引っ張ったところ、接触部分に左指が挟まれ骨折した。	74	7	11102	1～ 9
63	2016	8	15～ 16	ガソリンスタンドの整備室で、客の車のエンジンオイルを交換してリフトを降ろした際、当該車のオイルシールを見ようとしてリフトに近づき、足をリフトに挟まれてしまった。	17	7	80204	10 ～ 29
64	2016	8	13～ 14	荷物用の昇降機に荷物を乗せ2Fから下に降ろした際、途中でおしぼりの台車がリフトから脱輪しリフト自体が引っ掛かり停止してしまっした。2Fにいた被災者が2Fのシャッターを開けリフトに右足を下ろし脱輪したおしぼりを持ち上げたところ、リフトの停止ボタンを押さず作業をした為、引っ掛かっていたおしぼりを持ち上げた瞬間リフトが40～50cm程下がり、リフト上部フレームと2Fの足場に左半身を挟まれ、負傷した。	41	7	11703	30 ～ 49
65	2016	8	9～ 10	エレベーターで荷物を運ぶ時、本来はエレベーター内で移動スイッチを操作するところ、エレベーター外で操作し、誤って地面とエレベーターに右足甲をはさまれ負傷した。	23	7	10102	1～ 9
66	2016	7	12～ 13	事務所にてカラオケ機器を取りに3Fへ上がる為、エレベーターリフトを上昇させた時、よろけて手を手摺りに添えた為、鉄骨に挟まった事で左指を負傷した。	42	8	140309	10 ～ 29
67	2016	7	16～ 17	原料・資材を運ぶ、固定型の簡易リフトを使って、1階から2階に物を運ぼうとしていた。積み方が不安定であったため、2階に上がりきると同時に、荷物の一部が、リフト台と2階天井部分ではさまった。粉入りの袋物であったので、それを取り除くため、1階から脚立を立て、作業をしていた。2階部分からも取り除く作業をしていた。その時に、リフト台が落下し、1階で	48	6	10803	10 ～ 29



75	2016	2	9～ 10	材料をプレス機に送り出す装置であるリフターの油圧装置に不具合があり、リフターを上げ、電源を切り降下用防止の鉄パイプを挟んで1人でパッキンの交換等の修理していたところ、何らかの原因でリフターが降下し、上半身を挟まれてしまった。	39	7	10409	10 ～ 29
76	2016	2	13～ 14	工場内において、荷物運搬エレベーターに首を挟み負傷した。	26	7	10807	1～ 9
77	2016	2	17～ 18	和食レストランパントリーにあるリフトを使用してダンボールを運ぼうとした時、リフト内と扉のすき間にダンボールが挟まってしまい、取り出す時のはずみで、リフト上段の扉が閉まりそうになり、右眉毛の上に当たった。	65	6	140101	100 ～ 299
78	2016	2	16～ 17	長芋選別場所の周りの清掃作業を行っているときに、選別コンテナ専用固定式リフト台の上に乗る、移動時に不注意によって、右足をリフト端に引っ掛け転倒し、顔面を強打した。	64	2	170209	50 ～ 99
79	2016	2	12～ 13	住宅用エレベーターの制御盤等の交換工事が終わったが、走行時の音が気になったため機械室に行き制御盤でカゴ呼びを登録し巻上機のブレーキシューを確認していたところ防寒着の袖口がワイヤーロープと接触し、左手がマシンシブとワイヤーロープの間に巻き込まれた。	26	7	30302	1～ 9
80	2016	2	16～ 17	荷主の倉庫で荷上げ作業をしている時にリフトのワイヤーで指を負傷した。	45	8	170209	10 ～ 29
81	2016	1	16～ 17	ワイヤーロープ交換・点検工事現場内で被災者は点検デッキを移動中、点検口の蓋が外れ、リフターの天井部分に転落した。その際身体をリフターに打ちつけ、主に右半身を負傷した。	49	1	30302	1～ 9
82	2016	1	9～ 10	作業リフトを操作中、上部の枠部に指を挟んだ。	42	7	11703	1～ 9
				帰宅途上、オフィスがある4Fから1Fにエレベーターが止まる				

83	2016	1	17~ 18	際、ガコンと大きい音がして、変だなと思いながらドアが開いたのでそのまま降りた。しかし、エレベーターが正常に停まる位置より5cmほど上で停まったため、その段差に気付かず転倒した。	26	2	90103	~ 499	300
84	2016	1	12~ 13	リフトの保守・点検作業を行っていたところ、被災者がリフトのカゴと昇降路の壁に挟まり動けなくなっているところを発見された。	45	7	170209	1~ 9	
85	2015	12	15~ 16	カー用品取付作業場にて、車をリフトアップする際、車のジャッキポイントに当てゴムを設置しようとしている時に、その行動に気づかず同事業所内の他の作業員がその場のリフトを上げてしまい、車のジャッキポイントと当てゴムの間に右手人差指と中指をはさまれ、負傷した。	20	7	80209	~ 29	10
86	2015	12	10~ 11	工場内で、整備士が車の夏タイヤを冬タイヤに交換し、本人がその夏タイヤを車のトランクに積込もうと、車の後側へ回り、タイヤを持ってリフトが下がってくるのを待っていた折、誤って、自分の足が下がって来たリフトにはさまれてしまった。	78	7	80202	1~ 9	
87	2015	11	14~ 15	ホーム上で2階から1階へエレベーターを使用し、荷物を降ろす作業をしていた際、エレベーターのワイヤーが切れエレベーターが落下。エレベーターの操作をしていた被災者に接触し、負傷した。	48	4	40301	~ 99	50
88	2015	11	8~9	型枠解体工が15階解体作業を行う為、ロングスパンEVにて上がる際、解体作業に使用するバール（約1.0m）を足の甲の上に置いて上がる際にバールの先がロングスパンのステージに引っ掛かりロングスパンは気付かず上昇したため、右足の甲の安全靴の鉄板のない部分にバールの先端がささった。	18	7	30209	~ 29	10
89	2015	11	2~3	改修工事中のエスカレーターで異音調査中、ステップとフロアプレートに右足を挟まれた。	49	7	30302	~ 29	10
				最上階（R階）にて作業終了後、後片付けしたゴミをロングス					

90	2015	11	17～ 18	パンエレベータ（リフト）で1階に下ろす作業を手摺パイプごしに手渡しで行っていた。最後のゴミを手渡しした際にリフトが動いて、リフトの枠と手摺のパイプの間に首をはさまれた。	26	7	30201	1～ 9
91	2015	10	16～ 17	2Fから1Fに降下中の荷物運搬用リフトに首を挟まれた。	43	7	170101	300 ～ 499
92	2015	10	14～ 15	工場内2Fの貨物用エレベータを操縦中、誤って左親指をはさんでしまった。	63	7	11701	10 ～ 29
93	2015	10	2～3	加工室の番重リフトに台車に乗せた番重をセットした後、リフト上昇時に積んであった番重が崩れて、偶然番重リフト前を通行していた被災者の右上腕部に落下し負傷した。	49	5	10109	100 ～ 299
94	2015	9	16～ 17	預かり車両の点検作業中、同僚がフラットタイプのリフトを降下させる際に、被災者へ安全確認を行い「大丈夫」と返答したため、リフトを降下させたが、リフトが完全に下がりきれないうちに被災者が助手席側のドアを開けエアコンフィルタの確認作業を始め、その時にリフト側面のアームの下のピンと床面の間に左足を置いていたため挟まり、負傷した。	22	7	80202	10 ～ 29
95	2015	9	11～ 12	テーブルリフターのフレームサイドに足場を溶接取付作業工程の中で外部はリッターの下部にならないが内側を補強溶接する場合、リッターサイドの下部に入って作業せねばならず下部で作業中に油圧ホースが破損して下降しだし地上高H=400程度迄下降しその間にはさまれフレームの一部で左足くるぶしの一部を骨折した。	62	7	11301	1～ 9
96	2015	9	15～ 16	エレベータ改修工事において、機械室天井2ヶ所にチェーンブロックを掛け、巻上機を吊り機械台に設置する作業を行っていた。巻上機を吊り上げる時に、機械台に両足を乗せて立ち、機械台の側面に巻上機が接触しないようバールを機械台と巻上機	44	1	30302	10 ～ 29

				の間に入れ保持していたが、体勢を崩し左足が滑り転落した。				
97	2015	9	10～ 11	業務用エレベータに清掃作業を終えて乗り込もうとした際に、着床フロアとエレベータ籠とに生じた5cm程の段差に躓き、転倒した。	62	2	150101	10 ～ 29
98	2015	9	15～ 16	立体駐車場の塗装作業中、3階部分が終了し、2階作業に移る際、足場確保の為に、他の作業員がパレットを動かした。安全確認の声掛けをしたが、左手を横行レール上に載せていた為、軍手をローラーに巻き込まれ、挟み込まれた。	40	7	30302	30 ～ 49
99	2015	9	15～ 16	製材を乗せて上げ下げする機械（リフター）の上に乗る、梱包前の製材の切り口面を揃える作業を終えた時、休憩合図のベルが鳴ったので早く休憩室に向かおうと、床から120cm位上がっているリフターの台に一旦腰かけ、下の床板に飛び降り足首を外側に捻るような形で受傷した。	33	3	10401	50 ～ 99
100	2015	8	18～ 19	故障修理において巻上げロープのすべりを確認し、ハイトラオイルを塗布するため顧客に停止作業を申し入れしたが、暫く待つように指示された。機械室にて待機中、不用意に自動運転のままロープの清掃を実施した際、綱車とロープの間に左手を巻き込まれ、負傷した。	59	7	150101	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。